

おいらせ町新病院建設事業 事業説明会

おいらせ町

おいらせ町新病院建設事業について



本事業は、国民健康保険おいらせ病院について、新築、移転により現病院の機能、設備面での課題の解消を図り、災害時でも安定した医療サービスの提供を可能にするものです。

建設予定地位置



新病院整備基本方針

①患者・家族にやさしい施設整備

- ・みんなにやさしいデザインを基本に、分かりやすい施設とします。
- ・バリアフリーに配慮した施設とします。
- ・アメニティやプライバシー、待ち時間に配慮した施設とします。
- ・個室数の充実など入院患者のプライバシーに配慮した療養空間を計画します。
- ・医療の安全、感染管理に配慮した施設とします。

②機能的で使いやすい施設整備

- ・受付から会計までの患者動線の効率化を計画します。
- ・患者動線とスタッフ動線を可能な限り分離した施設計画とします。

新病院整備基本方針

③災害に強い施設整備

- ・災害時においても継続して医療を提供できる体制を整えるため、安全性・耐震性を確保した建物とし、利用者及び職員の安全を確保します。
- ・災害時に患者のトリアージ(治療優先順位)や処置等に必要なスペースを確保します。

④経済性・環境に配慮した施設整備

- ・建設コスト縮減、メンテナンス費用などライフサイクルコストを考慮した施設とします。
- ・省エネルギーによる環境負荷に配慮した施設とします。
- ・周辺環境に配慮した施設とします。

病院機能

① 病床構成

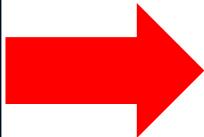
病 床	現病院	新病院
急性期・一般病床	78床	27床
感染症対応病床	-	3床
回復期・地域包括ケア病床	-	40床
合 計	78床	70床

新病院機能

② 診療科目

現病院

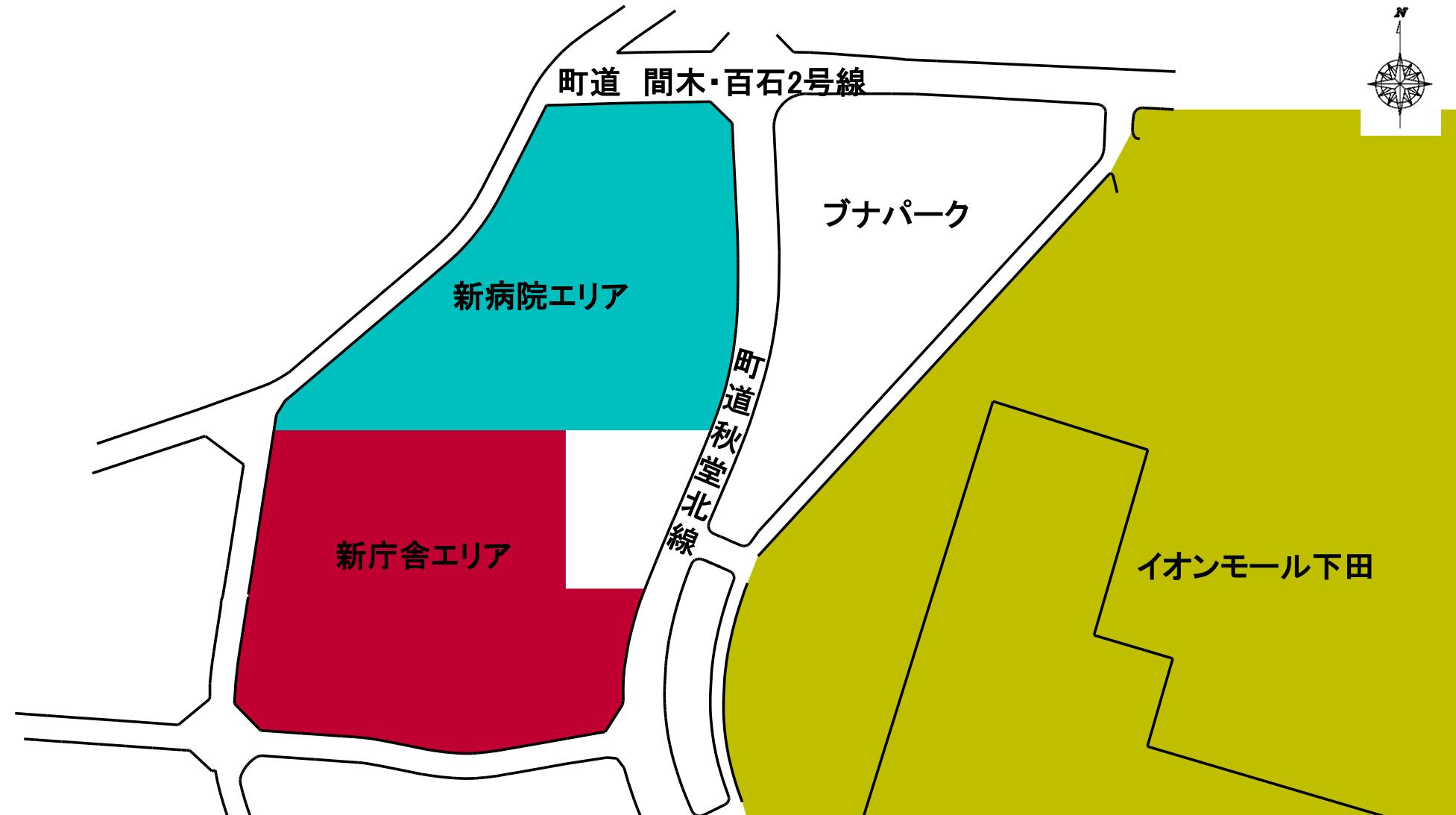
- ・内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・小児科
- ・脳神経外科
- ・眼科
- ・皮膚科



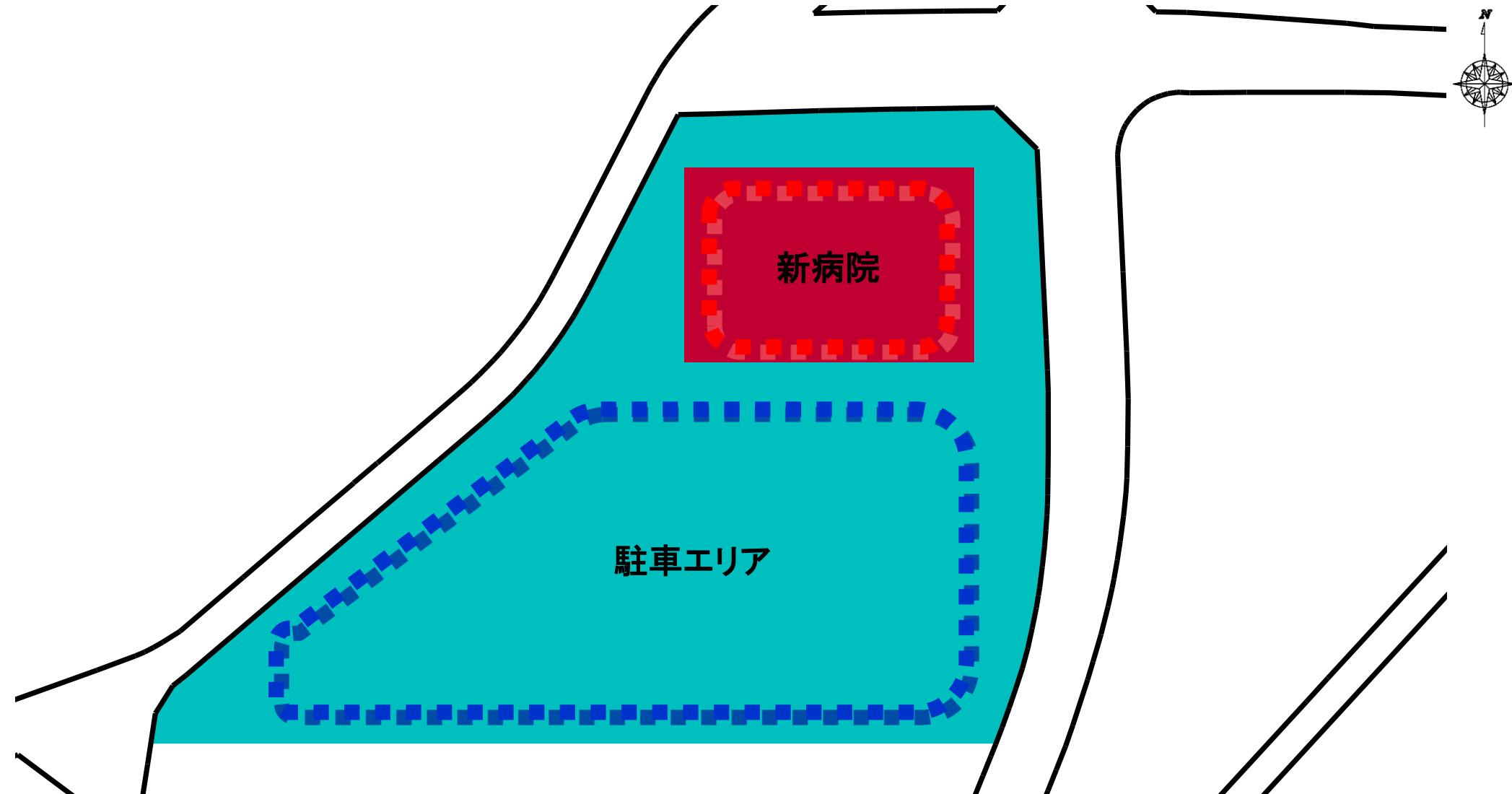
新病院

- ・内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・小児科
- ・脳神経外科
- ・眼科
- ・皮膚科
- ・泌尿器科
- ・人工透析内科

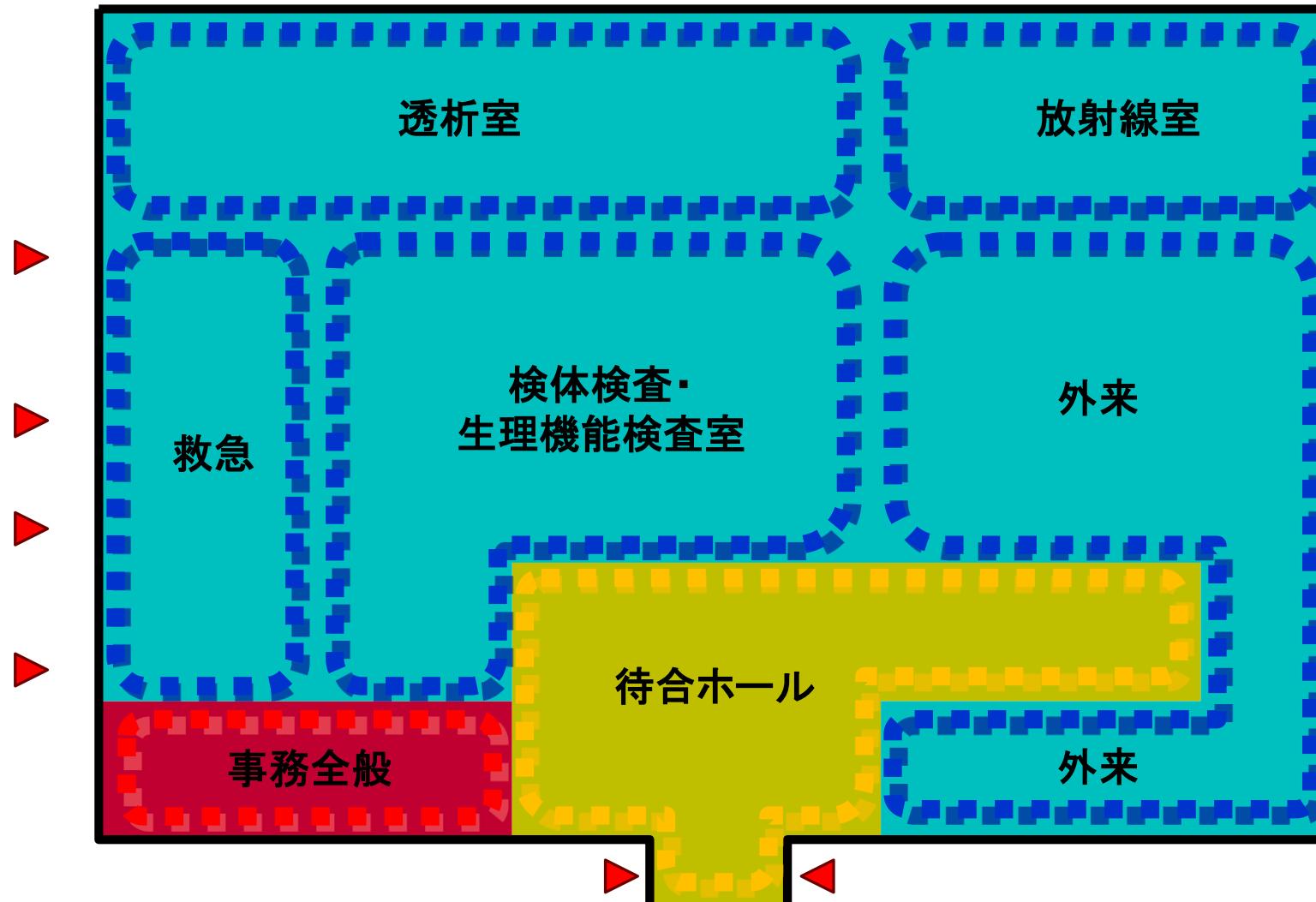
建設予定地のゾーニング



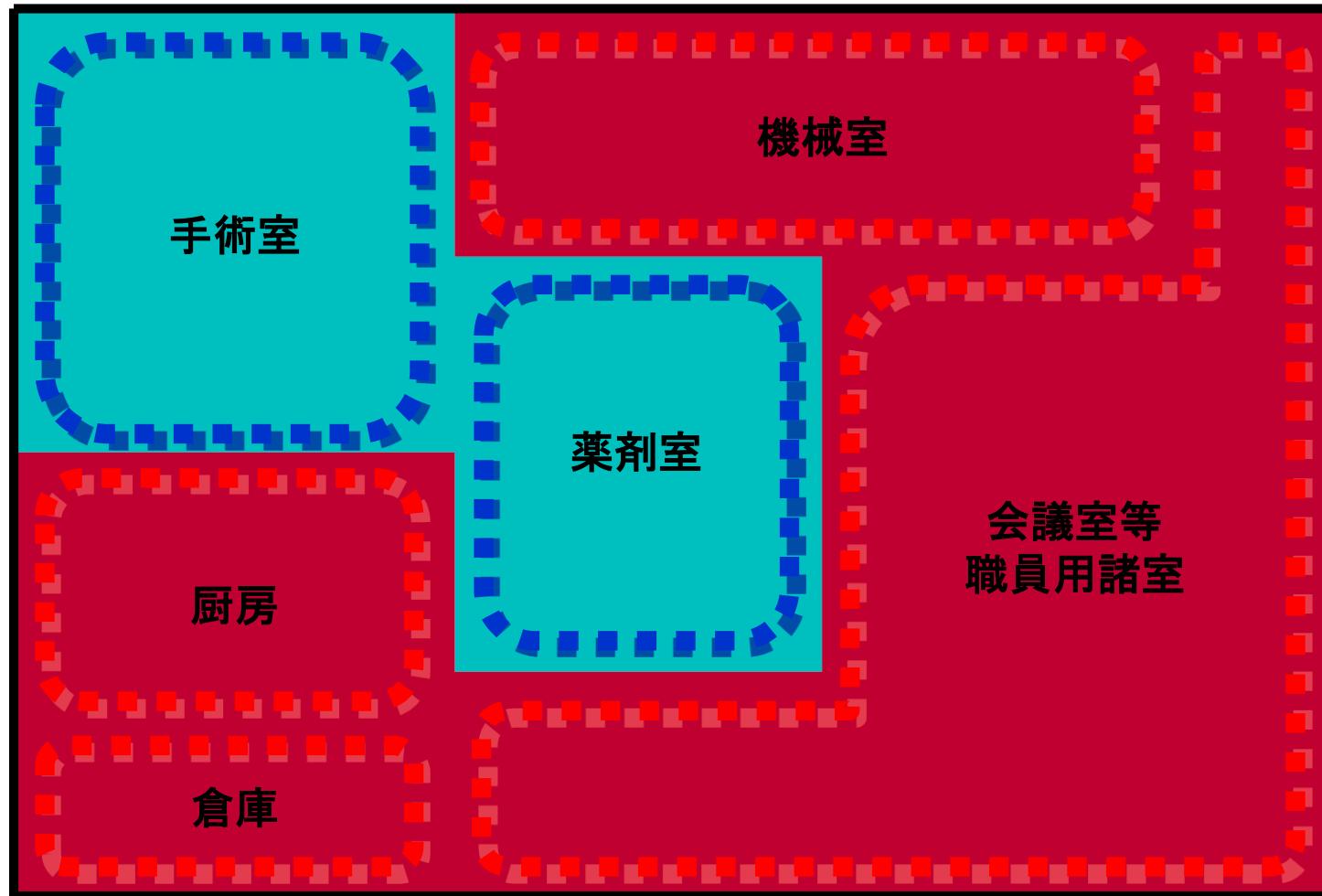
新病院エリアのゾーニング



新病院1階のゾーニング例



新病院2階のゾーニング例



N

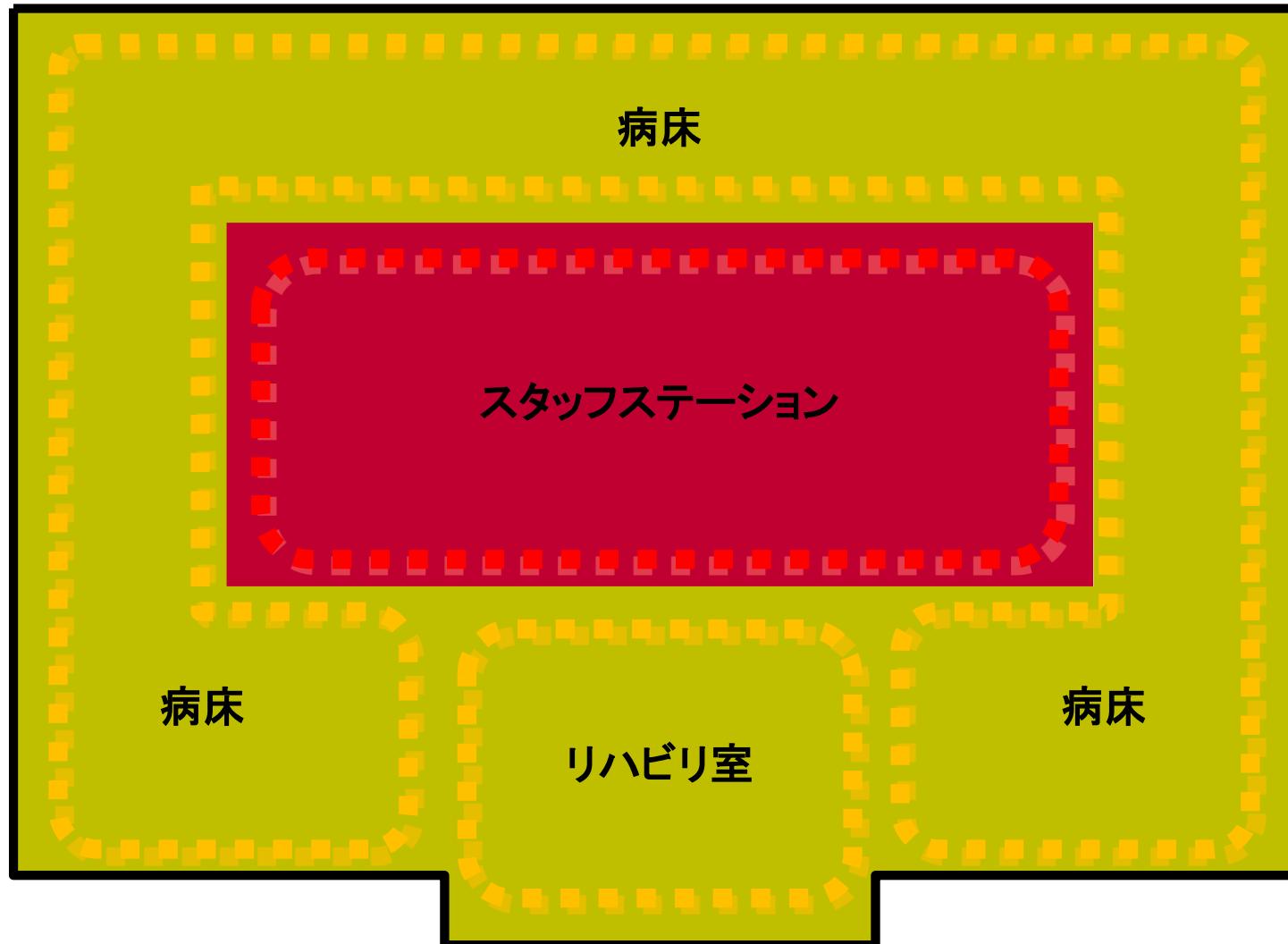
E

S

W

凡 例	
	医療エリア
	管理エリア

新病院3階のゾーニング例



新病院建設による効果

- 現病院施設の狭隘化

現病院は昭和57年の改築時の施設基準であり、病室など狭隘な状況である。

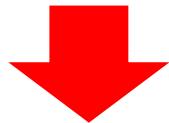


現施設基準を満たすことにより、利用しやすく、働きやすい環境を整えることができる。

新病院建設による効果

- 診療機能における課題

患者と職員等の医療動線が同一になるなどの問題、各室の設備不良やスペース不足などの医療機能における問題、診察室などのプライバシーの問題などを抱えている。

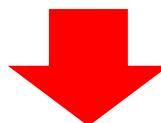


診療機能が改善されることにより、良質な医療環境を提供することができる。

新病院建設による効果

- 施設の老朽化

現病院は築43年が経過しており、老朽化による問題が顕著化、それに伴う修繕や維持管理費が増加している。



病院の新築により老朽化した建物・設備が改善され、修繕や維持管理費が軽減される。

新病院建設による効果

- 災害対応への課題

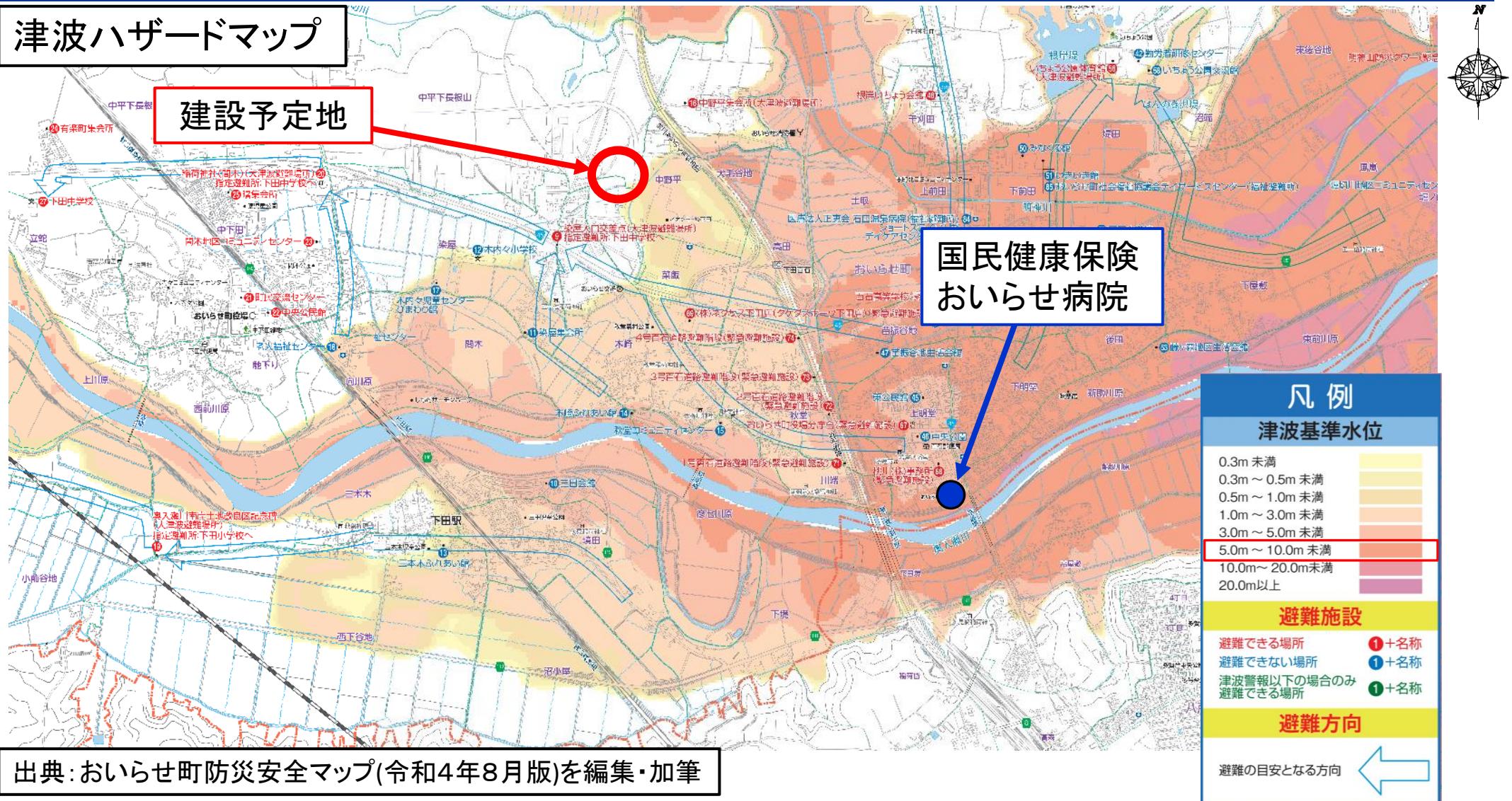
現病院は津波、洪水の浸水想定区域内に位置しており、災害時の安定した医療サービス提供ができない状況である。



浸水想定区域外への移転により、災害時でも安定した医療サービスの提供が可能となる。

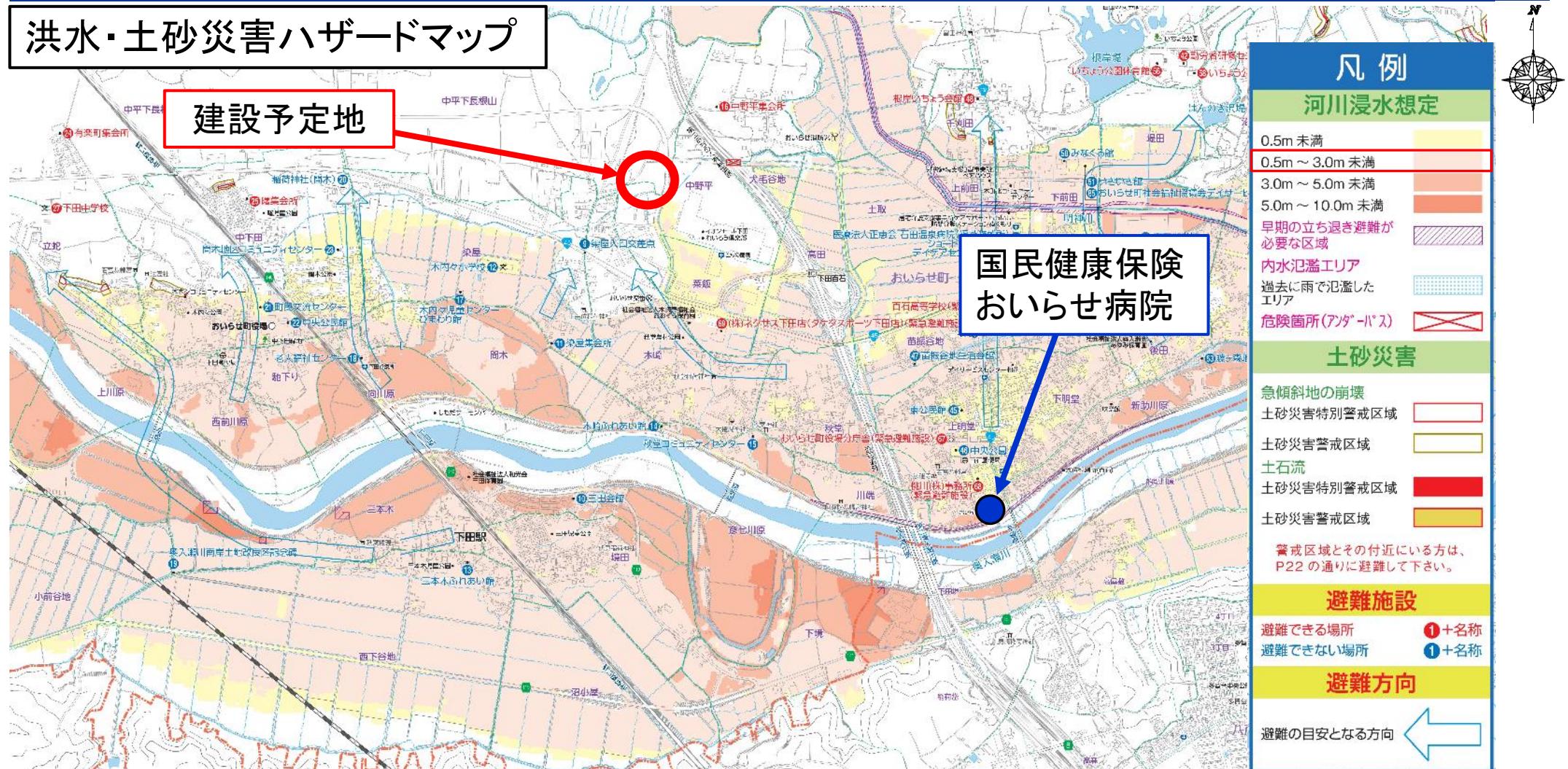
新病院建設による効果

津波ハザードマップ



新病院建設による効果

洪水・土砂災害ハザードマップ



出典:おいらせ町防災安全マップ(令和4年8月版)を編集・加筆

今後の工程

○本事業で買収予定の敷地

⇒土地所有者による本事業の必要性、公益性について、理解が得られている。
また、土地の譲渡、用地内の物件の移転についても同意が得られている。

○今後の工程(予定)

年月日	項目
令和7年 11月	事業事前説明会(本日説明会)
令和7年 12月	事業認定申請
令和8年 1月	事業認定告示

今後とも皆様のご理解とご協力をお願
いします。